

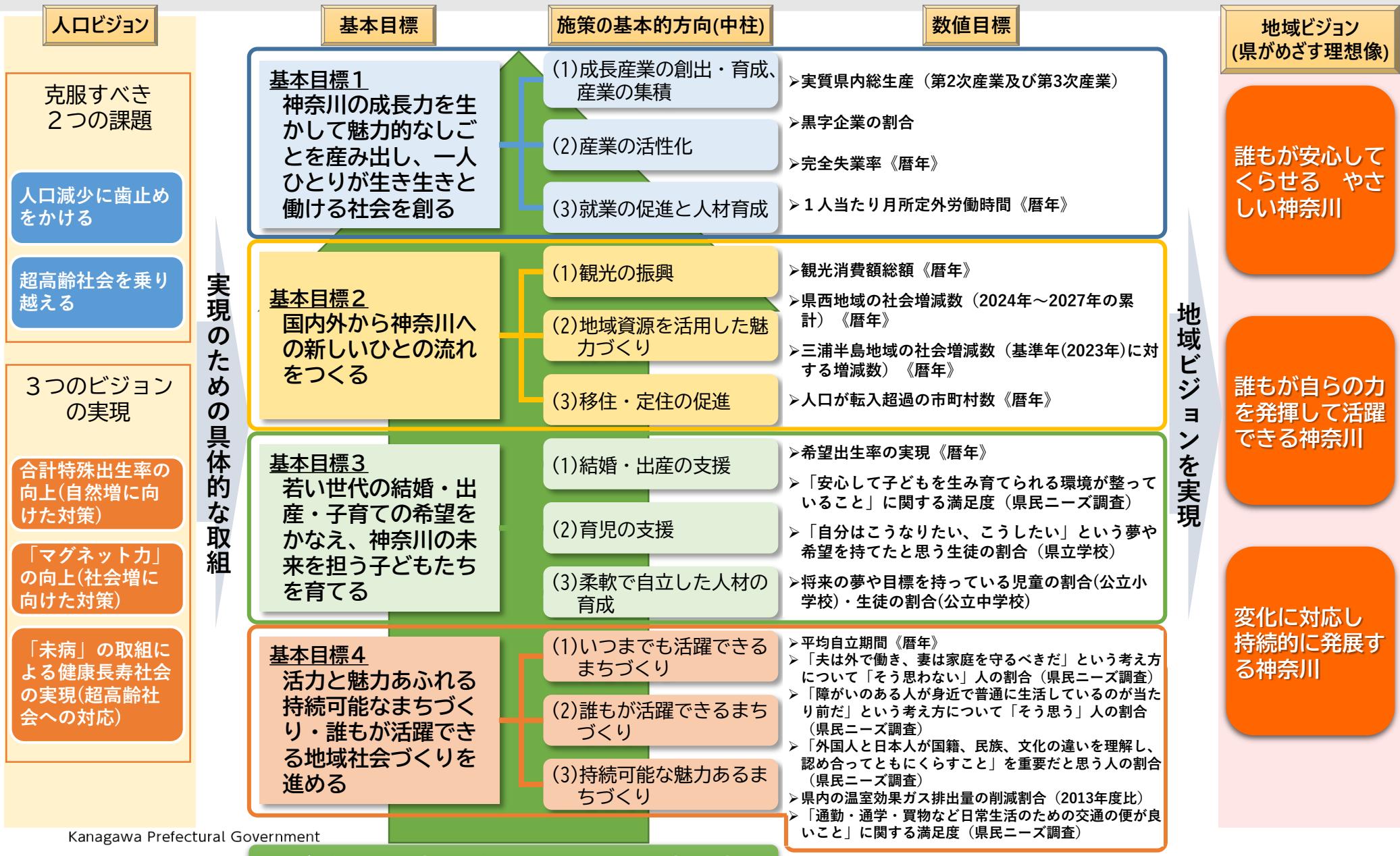


参考資料2

第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 【概要版】

令和6年3月策定・令和7年3月改訂
神奈川県

「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2024～2027年度）の全体像



■基本目標1

神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働く社会を創る

【基本目標のねらい】

神奈川の成長力を生かした神奈川らしい成長産業の創出などに取り組むことにより、県内に魅力的なしごとの場をつくり、安定した雇用を生み出し、多様な人材が活躍して、多様で柔軟な働き方で一人ひとりが生き生きと働くことができる社会の実現をめざします。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

小柱には「主な取組」や「KPI」を位置付けており、具体的な取組を進めています。

(1)成長産業の創出・育成、産業の集積

特区制度などを活用し、成長産業の集積やイノベーションの創出を図ります。

①未病産業、最先端医療関連産業の創出・育成

②ロボット産業の創出・育成

③ベンチャー企業の創出・育成、産業集積の促進

(2)産業の活性化

中小企業の経営基盤強化による産業の活性化を図るとともに、地産地消の推進による持続可能な農林水産業の実現をめざします。

①県内中小企業・小規模企業の活性化

②農林水産業の活性化

(3)就業の促進と人材育成

産業を支える人材を確保・育成していくとともに、女性や障がい者、外国人など多様な人材が活躍や、多様な働き方の推進を図ります。

①多様な人材の就業・活躍支援

②産業を支える人材育成

③多様な働き方ができる環境づくり

■基本目標2

国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

【基本目標のねらい】

神奈川のマグネット力を高め、観光の振興、地域資源を活用したプロジェクトを推進することで、ひとの流れをつくり、賑わいを創出します。また、将来の移住につながるよう、各地域のマグネット力を高め、地域活性化を図り、人を呼び込み、地域に住む人と人のつながりを創出し、定住人口の増加を図ります。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

(1)観光の振興

国内外の観光客の県内への来訪を促進し、持続可能で発展的な観光振興を進めます。

①観光資源の活用や観光客の受入環境整備

②国内外への戦略的プロモーション

(2)地域資源を活用した魅力づくり

地域の特性や資源を最大限に活用したプロジェクトの推進など、地域の魅力に磨きをかけてひとを呼び込むことで地域の活性化を図ります。

①県西地域活性化プロジェクトの推進

②三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

③かながわシープロジェクトの推進

④マグカルによる地域の魅力づくり

⑤水源地域の活性化

(3)移住・定住の促進

観光や地域活性化の取組により生まれたひとの流れをとらえ人を呼び込み、地域に住む人ととのつながりを創出し、移住・定住の促進を図ります。

①移住の促進

②定住しやすい環境づくり

■基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる

【基本目標のねらい】

「子どもを生むなら神奈川 子育てするなら神奈川」の実現をめざし、結婚から育児までの切れ目ない支援や困難を抱える家庭・子どもへの支援などを通じて、安心して結婚、出産、子育てができる環境を整えるとともに、妊娠・出産などに関する知識の普及やライフキャリア教育を進め、若い世代の希望の実現を図ります。また、神奈川の未来を担う子どもたちが変化の激しい社会に適応していくよう、柔軟で自立した人材の育成を進めます。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

(1)結婚・出産の支援

若い世代の経済的基盤の安定や結婚の希望をかなえる環境づくり、妊娠・出産を支える社会環境整備向けた取組を進めます。

小柱

①若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環境づくり

②妊娠・出産を支える社会環境の整備

(2)育児の支援

安心して子どもを生み育てることができる社会に向けて、社会全体で子育てを応援し、困難を抱える家庭・子どもを支える環境を整えていきます。

①子育てを支える社会の実現

②困難を抱える家庭への支援

③困難を抱える子どもへの支援

(3)柔軟で自立した人材の育成

子どもたちの思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成するとともに、すべての児童・生徒が安心して快適に学べる環境づくりを進めます。

①将来を支える人材の育成

②共生社会の実現に向けた人材の育成

③教育環境の整備

■基本目標4

活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

【基本目標のねらい】

既に超高齢社会が到来している中で、未病改善をはじめとした健康長寿の取組により元気に、高齢者が取り残されることなく安心してくらし、文化芸術活動やスポーツに親しみ心豊かに生き生きとくらすことでいつまでも活躍できるまちづくりを進め、超高齢社会を乗り越える社会システムを創っていきます。また、人口減少局面においても、女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、自らの力を発揮して活躍できる地域社会づくりを図ります。さらに、脱炭素社会の実現や、安全で安心なまちづくり、都市機能の集約化などの観点に立った持続可能な魅力あるまちづくりを進めるなど、活力と魅力あふれるまちづくりの実現をめざします。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

(1)いつまでも活躍できるまちづくり

未病改善などによる健康長寿に向けた取組、高齢者が生き生きとくらせるまちづくり、教養・文化・スポーツに親しむ社会づくりを通じて、生涯にわたって活躍できるまちづくりを進めます。

①健康長寿のまちづくり

②高齢者が生き生きとくらせるまちづくり

③教養・文化に親しむ環境づくり

④スポーツに親しむまちづくり

(2)誰もが活躍できるまちづくり

悩みを抱える方への寄り添いや、年齢、障がい、性別、国籍に関わらず、互いに支え合い、誰もが居場所と役割をもって活躍できる地域社会づくりを進めます。

①悩みを抱える方へ寄り添うまちづくり

②ジェンダー平等で多様な人が活躍できるまちづくり

③障がい者が活躍できるまちづくり

④外国人が活躍できるまちづくり

(3)持続可能な魅力あるまちづくり

脱炭素社会の実現に向けた取組や安心・安全なまちづくり、都市基盤の整備などを進め、将来へ向けた持続可能なまちづくりを進めます。

①脱炭素社会の実現

②安心してくらせるまちづくり

③交通ネットワークの充実と魅力あふれるまちづくり

第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和7年3月の改訂内容

【改訂の考え方】

令和7年3月の神奈川県人口ビジョンの改訂や、政策分野ごとの個別計画の見直しとの整合性を図る観点で、第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略を一部改訂しました。

【改訂内容】

■数値目標の見直し

基本目標3

希望出生率の実現《暦年》

2027年度目標値 改訂前：1.42 ⇒ 改訂後：1.18

■KPIの追加

基本目標3

(1) 結婚・出産の支援

②妊娠・出産を支える社会環境の整備

プレコンセプションケア講座の参加者数〔累計〕

2027年度目標値 22,500人

(2) 育児の支援

①子育てを支える社会の実現

放課後児童支援員及び放課後子ども教室指導者等の資質向上のための研修等の受講人数

2027年度目標値 1,560人

②困難を抱える家庭への支援

学校と家以外で相談できる大人がいる生徒の割合

2027年度目標値 60%

放課後児童クラブの施設数

2027年度目標値 1,441施設